


陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第161号（4. 10. 11） 加齢性難聴者の補聴器購入について公的助成制度の創設を要請する意見 書提出を求める陳情
陳 情 の 要 旨	加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成制度を創設するよう、国に対 して意見書を提出すること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市須磨区 繁 野 愛 子
送 付 委 員 会	福祉環境委員会

2022年10月11日

神戸市会議長 様

神戸市須磨区

繁野 愛子 

電話：

「加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成制度を創設するよう、国に対する意見書を提出すること求める陳述書」
情

情
〔陳述趣旨〕

私は生活と健康を守る会の活動を通じて、加齢性難聴で聴力がお
いる方々を多く知っています。加齢性難聴の人は聞き取りが悪いの
で仲間に入る事をやめている人もいます。そして孤立をして、人と
人との出会いを持たなくなっています。

この人達が補聴器を購入出来たら また仲間に入り以前と同じ
ように交流できると思います。また公的機関に出向いても説明がき
ちんと聞き取れて自分の気持ちを伝える事も出来ます。
それには高額な補聴器代の補助が必要です。補聴器は片耳だけでも
10万円以上します。そんなお金はありません。これは神戸市だけ
の問題ではありません。これだけ問題になっている今こそ国に補聴
器購入費用の公的補助の実現を求めるよう意見をあげていただくこ
とをせつにお願いします。

情
〔陳述事項〕

加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成制度を創設するよう、国に
対して意見書を提出すること